



プレゼンス

- [CalendarWebExMeetingPresence](#) (1 ページ)
- [DomainsForOutlookPresence](#) (1 ページ)
- [Enable1st_outlook12 Presenceintegration](#) (2 ページ)
- [HVDDisconnectSignout](#) (2 ページ)
- [LoginResource](#) (2 ページ)
- [meetingservice_supportmultimeeting](#) (3 ページ)
- [OutlookContactResolveMode](#) (3 ページ)
- [PresenceServerAddress](#) (3 ページ)
- [PresenceServerURL](#) (4 ページ)

CalendarWebExMeetingPresence

Windows 版 Cisco Jabber に適用されます。

Cisco Webex セッションリンクに参加していなくても、Microsoft Outlook カレンダーにミーティングがある場合、ユーザの出席を「Webex ミーティング中」変更できるようにします。

- **true** : Cisco Webex セッションリンクに参加していなくても、ユーザの出席が「Webex ミーティング中」に変更されます。
- **false** (デフォルト) : 出席を「Webex ミーティング中」に変更するには、Cisco Webex セッションリンクに参加する必要があります。そうでない場合、Microsoft Outlook カレンダー内にミーティングがある場合でも出席は「応答可能」のままとなります。

例 : `<CalendarWebExMeetingPresence>true</CalendarWebExMeetingPresence>`

DomainsForOutlookPresence

デスクトップクライアント向け Cisco Jabber に適用されます。

このキーを使用してドメインを設定すると、指定したドメイン内のユーザの出席情報だけを表示できるようになります。設定されていない場合は、すべての連絡先(ドメイン)の出席情報を表示できます。

このキーは、コンマで区切られた複数のホワイトリストドメインをサポートします。例:
<DomainsForOutlookPresence>cisco.com、 cisco.cn</DomainsForOutlookPresence>。

単純なワイルドカードマッチに対応しています。例: *.cisco.com or *cisco.com。

例: <DomainsForOutlookPresence>cisco.com</DomainsForOutlookPresence>

Enable1st_outlook12 Presenceintegration

Mac 版 Cisco Jabber に適用されます。

前提条件: Microsoft Outlook 15.34.0

Cisco Jabber での出席が Microsoft Outlook に統合されているかどうかを指定します。

- True (デフォルト): Cisco Jabber 内のユーザの出席が Microsoft Outlook と統合されます。
- False: Cisco Jabber 内のユーザの出席が Microsoft Outlook に統合されません。

HVDDisconnectSignout

VDI 版 Cisco Jabber Softphone —Windows に適用されます。

このパラメータは、ユーザが HVD から切断された際に、Windows 版 Cisco Jabber がどのように出席ステータスを取り扱うかを管理します。

- true: ユーザーがサインアウトしたか、HVD から切断された場合、Cisco Jabber が自動でサインアウトし、10秒以内に出席ステータスを**オフライン**に変更します。
- false (デフォルト): ユーザーがサインアウトしたか、HVD から切断された場合、Cisco Jabber はそのままサインイン済みとなり、出席ステータスは、**Available**となります。

例 :

<HVDDisconnectSignout>False</HVDDisconnectSignout>

LoginResource

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

このパラメータは、ユーザが Cisco Jabber クライアントの複数のインスタンスにサインインできるかどうかを制御します。

- multiResource (デフォルト) : ユーザは、クライアントの複数のインスタンスに同時にサインインできます。

- **wbxconnect** : ユーザは、一度にクライアントの1つのインスタンスにしかサインインできません。このオプションは、クラウドとハイブリッドの展開に適用されます。

クライアントはユーザの ID に **wbxconnect** サフィックスを付加します。ユーザは、**wbxconnect** サフィックスを使用する他の Cisco Jabber クライアントにサインインできません。

- **mutualExclusion** : ユーザは、一度にクライアントの1つのインスタンスにしかサインインできません。このオプションは、すべての展開に適用されます(オンプレミス、クラウドおよびハイブリッド)。ユーザが新たにサインインすると、クライアントの古いインスタンスから自動的にサインアウトします。

例: <LoginResource>mutualExclusion</LoginResource>

meetingservice_supportmultimeeting

Windows 版 Cisco Jabber に適用されます。

Jabber が複数の Webex Meetings の開始をできるようにするかを指定します。

- **true** (デフォルト): 複数のミーティングを有効にします。
- **false**: 複数のミーティングを無効にします。

例: <meetingservice_supportmultimeeting>true</meetingservice_supportmultimeeting>

OutlookContactResolveMode

Windows 版および Mac 版 Cisco Jabber に適用されます。

Outlook での連絡先の存在の解決方法を指定します。

- **Auto** (デフォルト): SIP:user@cupdomain を使用して、proxyaddress 属性を設定すると、Jabber は Jabber ID として user@cupdomain を使用します。Proxyaddress 属性を SIP なしで設定した場合、Jabber は Outlook で連絡先のプレゼンスを解決するように電子メールアドレスを使用します。
- **Email**: SIP:user@cupdomain を使用して proxyaddress 属性を設定すると、Jabber は電子メールアドレスとして user@cupdomain を使用します。Proxyaddress 属性を SIP なしで設定した場合、Jabber は Outlook で連絡先のプレゼンスを解決するように電子メールアドレスを使用します。

例: <OutlookContactResolveMode>Email</OutlookContactResolveMode>

PresenceServerAddress

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

オンプレミス展開のプレゼンスサーバのアドレスを指定します。値として次のいずれかを設定します。

- ホスト名 (*hostname*)
- IP アドレス (*123.45.254.1*)
- FQDN (*hostname.domain.com*)

例 : `<PresenceServerAddress>hostname</PresenceServerAddress>`

PresenceServerURL

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

Cisco Webex Messenger サービスの Central Authentication Service (CAS) URL を指定します。

例 :

`<PresenceServerURL>https://loginp.webexconnect.com/cas/ssso/ex_org/orgadmin.app</PresenceServerURL>`